



大津絵 左「鬼の念仏」右「雷公」（江戸時代の庶民絵画）

25周年記念事業・祝賀会開催

12月15日（土）、開学25周年記念行事が2部構成で行われました。福田紀彦川崎市長はじめ、アカデミーの今日までを支えていただいた方々のご列席と多くのご祝辞をいただきました。

第1部記念講演は、太田猛彦学長の「森林からみる持続可能な社会」と題した以下のお話でした。「持続可能性とは“生産しながら消費すること”が可能かどうかということである。現在では地下資源（化石燃料）をエネルギーとして活用しているが、化石燃料はやがて枯渇する。つまり持続可能ではない。地下資源を取り出して利用することは、加工ではあっても生産ではないからである。それに比べて森林は生産できる。加工するだけのものより効率は悪いが、“生産と消費”を同時に行うことが出来るのである。つまり持続可能性という点では、森林の方が地下資源よりも優れているのである。そうした観点で見ると、森林の重要性はますます高くなっていると言える。

これまで日本では『木は伐るな、木を植えよ』と言われ続けてきたが、今や木を伐ること（持続可能な木材生産）を考える時代になった。古来、森林資源を上手く活用して来た日本人には、森林の活用を中心とした持続可能な社会をつくる事が出来るはずだ。

太田先生のお話は、地下資源（古太陽エネルギー）依存社会から森林資源（現太陽エネルギー）依存社会への転換を示唆する、「森から見た現代文明論」でした。

第2部記念式典・パーティは、場所をプラザ近くのホテル精養軒に移して行われました。福田紀彦川崎市長をはじめ商工会議所副会頭、川崎市教育長、地域団体の方々、生涯学習財団、講師の先生、NPO法人OB、受講生等々、多くの方のご出席をいただきました。

藤嶋昭理事長から、関係者の皆さまのご努力下、7000名の受講生が集うアカデミーに成長しましたとお礼を述べられ、中国「管子」の言葉、「終身の計は人を樹（う）うるに如くはなし」（人を育てて成果を見るには一生をかけた計画が必要）を引用され、ご来席の皆さまのご支援を賜りたいと結ばれました。

福田市長から、アカデミーは川崎市の大きな宝であるとお話をいただきました。壇上に立たれた皆さまからは、励ましのお言葉や25年前の設立時のお話やNPO法人への移行のお話をご披露いただくなど尽きないスピーチをいただきました。

終始和やかな中にも25年の歴史の重さを感じる記念式典・パーティでした。



🔔 2018年度12月度 理事会 報告 - 12月19日（水）開催

1) 主な報告事項

- 部会長会議・4部会（総務、事業推進、広報、地域連携部会）から報告された
- 運営代表世話人会議の開催2月6日（水）
 - ①世話人ガイダンス 13:00～
 - ②代表世話人会議 14:00～

2) 主な審議事項

- 学習成果を活かした地域貢献活動支援事業について承認された

1) 運営代表世話人会議の開催

- ① 世話人の皆さま向け、世話人として知っておいて欲しい制度等手引きのガイダンス
- ② 代表世話人との全体会議

2) 審議事項

- 地域貢献活動支援事業について
上記支援事業はアカデミーの活動目標の一つであり、4月から活動を開始します

🔔 受講生による「学習成果を活かした地域貢献活動」を支援します

地域連携部会

1. 支援事業の目的

受講生が学習成果を活かして地域社会の課題に取り組み、地域社会の活性化に寄与するための活動グループを立ち上げることを支援します。

2. 支援の内容

1) 支援期間

- ① 3年 但し、審査は単年度ごとに行います。

2) 支援の内訳

- ① 活動始動に向けての助成金：50,000円以内/年
- ② 印刷機の使用（実費精算）
- ③ プラザおよび近隣施設の貸し会議室情報の提供
- ④ 組織運営についての相談への対応・助言
- ⑤ アカデミー修了生・受講生による活動の情報提供



3) 支援グループの資格条件

- ① アカデミーにおける学習成果を地域貢献に活かすことを活動の主目的とする。
- ② 活動立ち上げの提案者が受講生であること。
- ③ 発足後、3年未満であること。

4) 年間支援グループの数

- ① 1～3グループ

5) 支援終了後の活動の場について情報の提供

- ① フェスタへの企画出展
- ② 各区市民館等の市民自主企画事業への応募
- ③ 区民講師（市民講師）への応募
- ④ 寺子屋事業への参加の可能性



※問い合わせ先

川崎市中原区今井南町 28-41 川崎市生涯学習プラザ 3F
かわさき市民アカデミー 事務局
電話：044-733-5590

🔔 2019年度 受講生募集開始

受講申込み期間 1月11日(金)～2月22日(金)

☆前期は、さらに充実した53の講座・ワークショップを開講いたします。
☆今年度から、新たな資料代他の徴収方法・抽選制度・修了制度が適用になります。



☆「受講説明会」を開催します。 —是非、お友だちやお仲間をご紹介ください—

場 所	高津市民館	宮前市民館	中原市民館		麻生市民館
日 付	1/29 (火)	1/30 (水)	2/4 (月)		2/13 (水)
時 間	13:30～ 15:00	13:30～ 15:00	①13:15～ 14:45	②15:00～ 16:30	13:30～ 15:00
定 員	50名	70名	50名	50名	50名

○お友だちをご紹介いただきその方が受講された場合、新規受講者にご紹介された受講生それぞれに記念品を差し上げます。

☆詳細は「講座のご案内」パンフレットをご参照ください。

第11回「受講生のつどい」

皆さま！ 先生方との交流を深めながら、
「つどい」を大いに楽しみましょう！！

開催日 2019年3月6日(水) 13:00～

会 場 川崎市生涯学習プラザ 401大会議室

お申込み不要、参加費無料

今年度も、《受講生のつどい》を開催致します。
1年の締めくくりに修了式および受講生と先生、受講生
同士の親睦及び交流を深めて頂きたいと思えます。
今年は「もつすみフラメンコ」をお招きしました。
どんな踊りと演奏が聴けるでしょう・・・
皆様のご参加お待ちしております。

第11回受講生のつどい実行委員会



認定 NPO 法人かわさき市民アカデミーからのお知らせ

役員 (理事) 募集!!

募集人員 若干名
任 期 '19年6月から2年間
活動内容 NPO法人の運営に携わ
っていただきます

NPO 正会員募集!!

NPOの活動の充実と発展は、皆さまの
ご協力とご理解が必要です。
是非、NPO正会員にご加入いただきま
すようお願い申し上げます。

申し込み・問い合わせ先 かわさき市民アカデミー事務局 電話044-733-5590

🔔 データで見る「アカデミーに貢献した人たち」その③ー 講師編 ー

アカデミーの講座は、93年度後期から始まりました。その時、8つの講座が開設されましたが講師には著名な方々が名を連ねました。ベストセラー『バカの壁』の著者としてメディアでも有名だった養老孟司 東京大学教授(人間学)、日本を代表する劇作家木下順二氏(ことばと映像)、現在も活躍する作家島田雅彦氏(文学)をはじめ、多彩な講師がアカデミーの講座に登壇されたのです。これらの方々が講師に名を連ねたことは、アカデミーの存在を多くの人に知らしめる上で、大きく貢献するものでした。

この他、毎回仙台から講義に来られ最終列車で帰られた東北大学の西田秀穂先生(美術)など、多くの先生方が講師として、誕生したばかりのアカデミーを献身的に支えてくださいました。それは、アカデミー設立に中心的な役割を果たされた篠原一先生の「ひとりひとりの精神を豊かにし、ゆとりある人間らしい市民社会をつくり出す」。そのために「大学に劣らない質の高い学習内容を、多くの市民に提供したい」という考え方に、多くの先生方が共鳴し、アカデミー事業に進んで協力してくださった結果です。

開学してからしばらくの間は、コーディネーターが講師を兼ねることも多く、また一人で全ての回の講師を務める方もあったので、講師の数はそれほど多くありませんでした。1996年頃のアカデミーでは、前後期合わせた講師の数が大体100人前後だったようです。その中で、今も人間学講座の講師として登壇される内山節先生や、音楽Ⅱの講師丹羽正明先生の講座が始まったのは1996年、同じく音楽Ⅱの講師横井雅子先生の講座が始まったのは1997年だったことが分かりました。この3人の先生方はいずれも20年以上アカデミーの講師を務めておられることになります。

その後、学問の細分化が進んだことや、受講生が講座に期待するものも多様化したことを反映して、一人で12回全ての講師を務める方が少なくなり、それだけ講師の数も多くなってきました。現在(2018年度)では、前後期合わせると延べ450人以上の先生方に、アカデミーの講座・ワークショップの講師としてお出でいただいています。

講師の先生方も短期間で変わられることが多くなりましたが、上で紹介した3人の先生方以外で、現在まで10年以上にわたってアカデミーの講師を務めておられる先生方をご紹介します。

石井誠治先生(みどり学・環境とみどり・山の自然学)、海老沢敏先生(音楽Ⅰ)、太田猛彦先生(環境とみどり)、小泉武栄先生(みどり学・山の自然学)、佐藤道子先生(芸術ワークショップ)、瀬戸岡紘先生(経済)、芹沢俊介先生(人間学)、武部令先生(みどり学)、長島保先生(川崎学歴史)、増渕和夫先生(川崎学自然・歴史)、渡辺賢二先生(川崎学歴史)

アカデミーの開設当時は50人以下だった講師の数が、95年頃から年間延べ100人前後に増え、2000年を過ぎると延べ200人に近づき、2011年以後は延べ300人を超えるようになりました。そして現在は延べ400人を大きく上回る数になっています。25年間の講師総数は、おそらく延べ5000人以上になると思われます。これだけ多くの先生方に支えられて、アカデミーは今日を迎えることが出来たのです。

※この原稿を書いている最中に長島先生の訃報に接しました(長島保先生、2018年11月11日ご逝去)。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

編集後記

18年度は、受講生の皆さまに支えられ、新記録となる7,257名の受講をいただきました。秋の‘18フェスタでは、近隣の方々多数のご来場があり、交流ができました。11月には藤嶋理事長の川崎市名誉市民章受章という大変嬉しい出来事がありました。12月は開学25周年行事を行い、多くの関係者から祝福をいただきました。かわら版では、連載で「アカデミーの変遷」をお届けしました。

「市民による市民のための市民大学」を標榜するアカデミーの存在が少しずつ、市民や地域の皆さまに浸透してきているように感じるこの頃です。(K.O.)

認定NPO法人かわさき市民アカデミー

発行人 広報部会

編集人 かわら版編集委員会

川崎市中原区今井南町28-41

川崎市生涯学習プラザ3F

電話：044-733-5590

FAX：044-722-5761

問合せメールアドレス：

info@npoacademy.jp

ホームページ：

http://npoacademy.jp/